

July 6, 1999 摩周湖

この日宿泊予定の阿寒湖畔を左にやり過ごして 241 号線を摩周湖へと進む。すでに使い慣れたカーナビの指示にしたがって、ゆったりとした起伏を伴うせいで次々と発生する『逃げ水』がきれいな長い直線道路を進む。やがてカーブが増え次第に高度をあげて、摩周湖第一展望台に着く。ここは駐車が有料である。天候は快晴。かけらの霧もない濃いブルーの湖面が神秘的に美しい。観光バスが次々と到着しその都度展望台で記念撮影の団塊が入れ替わる。その合間をぬって Video 撮影や、景色を楽しむひととき



を過ごし、蝶採集案内書から期待できるカラフトタカネキマダラセセリを求めて第三展望台に移動。まずは新たな角度での眺望を楽しみ、そのあと、周辺の叢に目をこらす。斜面にチシマフウロのうすムラサキの花が咲いていて、この花にセセリチョウがきている。近づいてよく注意すると黄色が濃いカラフトタカネが混じっている。やや新鮮度がおちるが羽に汚損がないのでネットイン。よく観察していると、チシマフウロの吸蜜に訪れた際、花びらにとまったとたんに自身の重みで花びらがヒラリと外れて落ちる場合があり、あわてて場所を移すというヒョウキンな様子が二三度見受けられた。残念ながら Video を準備していなく映像記録はない。15分ほどの粘りで3頭のカラフトタカネキマダラセセリが採れて満足。



July 12, 2000  
北海道石北峠  
leg. M. Shimazaki



July 6, 1999  
摩周湖第三展望台  
leg. M. Shimazaki

July 12, 2000 石北峠

翌年の 2000 年 7 月、石北峠の山側斜面にルピナスなどの花畑があって、シロオビヒメヒカゲとカラフトタカネキマダラセセリを採集している。石北峠産の個体は図示(実寸の約 1.5 倍)したように 1999 年の摩周湖第三展望台産にくらべて一回り小さい。その後、峠を越えた大町区あたりで妻が運転休憩をとってくれた道路奥でオオイチモンジを捕獲している。



200712 石北峠 オオイチモンジ